

特集

窓の配置・採光と家づくり

敷地や条件に合わせて

住まいのニュースでは、暮らしに役立つ話題をご紹介します！今回は、窓の配置と採光計画から家づくりを考えます。

注文住宅の家づくりにおいては、眺望や日射しなどプラスの要素を最大限取り入れるとともに、外からの騒音や視線などのマイナスの要素を確実に遮ることで豊かな空間を生み出すことが大きな醍醐味です。このことと密接に関わりがあるのが窓の配置と採光のプランニング。どのような敷地条件にあっても、立地環境の長所を引き出せるかどうかは窓などの開口部と外部との関係にかかっています。今回は、窓と採光から考える家づくりのポイントを取り上げます。

●「閉じる」「開く」を調節するのが窓のプランニングの醍醐味

窓という左右にスライドさせる引違い窓を思い浮かべる方が多いと思いますが、例えば広々と眺望を取り入れたい、あるいは光だけを取り入れたいというように、生活シーンに合わせて可能性が広がります。まずは家の建つ周辺環境の特徴を把握

することが出発点。交通量の多い道路、ご近所や通行人の視線が気になる方位は窓の面積を減らし、生活感が目立たないように窓の位置を変えたり半透明の素材を使用するなどの工夫を施します。視線を遮りながら採光をしたい場合はハイサイドライト（高窓）やトップライト（天窗）が有効。トップライトは壁面窓の3倍の採光効果があるとされています。奥の部屋で採光が難しい場合は障子や欄間など採光を確保する伝統的な和室のアイデアも参考になります。

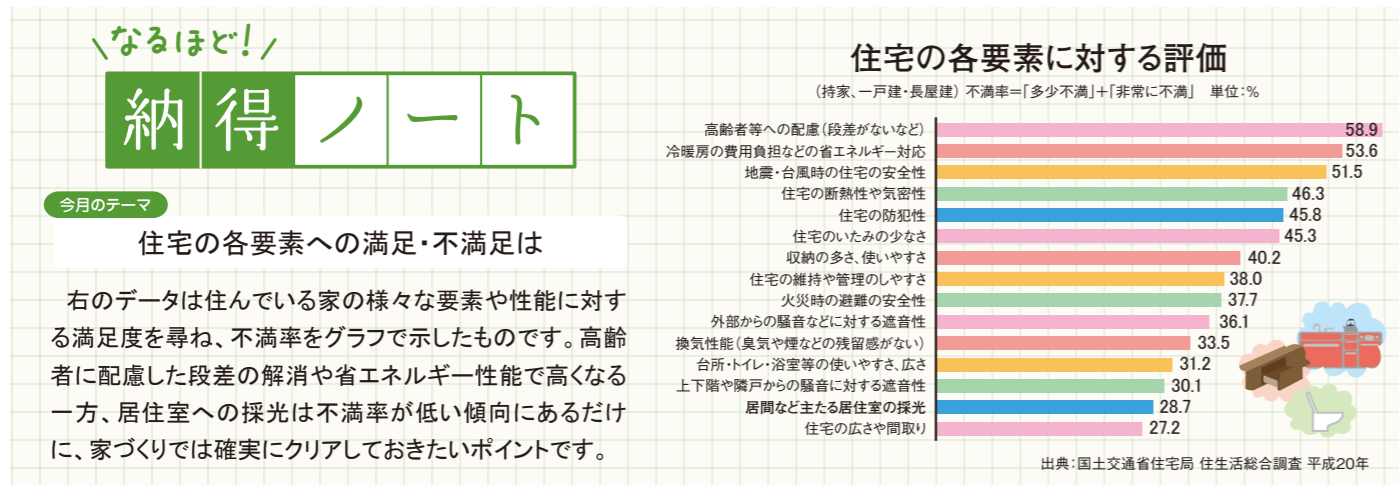
また、窓辺の空間は屋内にいながら外の景色や変化を楽しむ場所として古来から様々な工夫が凝らされてきた場所でもあります。家族が集まるリビングやダイニングでは家具と窓の配置を併せて検討することで心地よい空間が生まれます。書斎や寝室などプライベートな空間でも、机に座ったときやベッドに横になったときの目の高さを想定して窓の位置や大きさを決めていくのも良

いですね。敷地条件を洗い出しながら、周辺環境への対応をひとつひとつ考えていくことで窓の配置が自ずと決まってきます。

●冬の貴重な日射しを取り込み、暖かさを逃がさない家づくり

敷地が眺望に恵まれていたり、庭と一体となったりリビングを設けたいなどの場合は窓を大きくとりたいところですが、このような場合には住宅の断熱性能がとりわけ重要になります。窓辺の寒さや結露などが原因で開放感が台無しにならないよう設計施工の精度が肝心です。「FPの家」は寒い冬も裸足で過ごせるほどの快適さで、日照時間の少ない季節も日射しをしっかりと取り込みながら、熱を逃がすことがありません。

窓は家の内外を結ぶ大事な要素。敷地や環境に合わせたプランニングと、それを下支えする住宅の基本性能が両方揃うことが優れた家づくりを実現する秘訣です。



家づくりの知恵袋

今月のテーマ

照明の種類と演出

意識して配置することで家の雰囲気が格段に素敵になるのが照明の計画。これまであまり意識することがなかった方も、新築を期に明かりを見直してみてもいいかもしれません。

天井に取り付けるシーリングやシャンデリアは部屋全体を明るくする代表的な照明器具。ダイニングなど上から吊り下げるペンダントはテーブルを明るく照らします。一方で壁に取り付けるブラケット、特定の対象を照らすスポットライトやダウンライトなどは演出向き。光源は従来の白熱灯や蛍光灯に代わって、省電力のLED電球の普及が進んでいます。

屋内に明暗のメリハリをつけることで、広々とした空間の中で様々な雰囲気を使い分けられます。

我が家のお悩み診断

Dr. 住まいの

今のご相談

Q. 椅子やソファのお手入れ
家族が座る場所は清潔にしておきたいもの。掃除はどうしたら良いですか？

A. 食べかすやホコリなどが気になる椅子やソファ。座面が布の場合はブラシや掃除機でホコリを取り、汚れは固く絞った雑巾や薄めた中性洗剤を。革張りの場合はやさしく乾拭きをして、汚れは擦らないように注意を。革張りは直射日光に当てないことも大切です。

聞いて納得! 暮らしのアイデア

今月のアイデア

塩を温めてカイロづくり

まだまだ寒い季節が続きますが、塩を使って簡単にエコなカイロができるのをご存知でしょうか。塩1カップをフライパンで数分温め、ハンカチなどの布で包めば、電子レンジで何度でも温めて再利用することができます。ただし包むのは熱で溶けないよう化学繊維以外の布を。専用の巾着などを自作するのも楽しいですね。

おうちで気軽に始めよう

住まいの風水

今月のテーマ

インテリアの配色と選び方

家具やカーテンなどのインテリアは少し色を変えるだけで部屋の雰囲気が変わるもの。2015年を新しい気持ちでスタートするために、配色を工夫してみてもいいかもしれません。家族みんながくつろいで過ごせるよう、家のインテリアは自然な色使いや天然素材を取り入れることが肝心。陰の気をもつグレーやブラックなどモノトーンの場合は他の色をアクセントに組み合わせましょう。今年のラッキーカラーにも挙げられるグリーンは落ち着きや安らぎを与える色。観葉植物を取り入れるのも効果的です。

テーブルは木製が吉。ただし丸型は運氣が安定しないため、四角か楕円が良いとされています。